

有識者が語る「夏の節電」とは・・・(第1回)

愛知県地球温暖化防止活動推進センターは、内閣総理大臣の要請を受けて中部電力浜岡原子力発電所の運転が停止されたことに伴い、中部電力管内の各地域センターと共同して「節電のお願い」を呼びかけています。

そこで、有識者の皆さまから、それぞれのお立場で「夏の節電」の思いを自由に語っていただくシリーズを始めます。

トップバッターとして、名古屋大学大学院環境学研究科の佐野充教授にご登場していただきました。

楽しみながら、地道な取組みの積み重ねを！

名古屋大学大学院環境学研究科教授
佐野 充

これさえやればよいという満塁ホームランのような解決はないでしょう。いままでの対応を今一度、しっかりと完成させてゆくという地道な取組が大切です。

たとえば、愛知県は「緑のカーテン」コンテストを行っています。これを街全体に広げるとか、先日、取り組まれた「七夕ライトダウン」を日常化することです。その際、電球をLEDにすれば、確実な節電・省エネにつながるでしょう。でも、大切なのは楽しく取り組むという配慮がないといけません。緑のカーテンに生ったゴーヤ料理(*)で御近所とパーティも一興です。

仮に20%の削減を目標とするなら、ライフスタイルの見直しで10%、省エネ家電への買換えなどで10%というように具体的な目標をみなさん一人一人が自覚することでしょう。

最初に野球に例えましたが、とにかく塁に出る。ヒットでも四球でも振り逃げでもなんでもいいから「前に進むんだ」という日本野球の精神を、節電・省エネのため日常生活で活かしてゆくことの積み重ねしかないと考えます。

節電・省エネに王道はありません。分かり易くいえば、今年はちょっと調子がよくないようですが、節電・省エネを『イチロー化』するのです。

* ゴーヤのお薦め料理のレシピ：

- ① ゴーヤを縦長に半分に切り、スプーンを使ってワタを取り出します。
- ② ゴーヤを2mm程度の薄切りにします。
- ③ 油を引いたフライパンでゴーヤを炒めます。苦いのが嫌いな人は十分に炒めて下さい。
- ④ 油をきったシーチキンをフライパンに入れて、ゴーヤと一緒に炒めます。
- ⑤ 大さじ2くらいの味噌を加えて、味噌が十分に回るようにさっと炒めて出来上がり。

(編集後記)

7月8日、最後のスペースシャトルが打ち上げられました。節電・省エネの真髄は、1969年、人類で初めて月面に降り立ったアームストロング (Armstrong) 宇宙飛行士の「これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍である (That's one small step for a man, one giant leap for mankind.)」という精神にあると思いました。ありがとうございました。